

通信 シルバー 秩父

平成30年7月20日号

定時総会開催される

去る6月27日(水)平成30年度定時総会が秩父宮記念市民会館ホールにおいて開催されました。当日は一二二名の会員の出席のもと(委任状及び議決権行使書提出による者を含めた会員数は五五五名)、来賓代表として木村隆彦市議会議長、堀口剛秩父公共職業安定所所長のお二人からご挨拶をいただきました。

提案された報告事項5件、議案3件は、満場一致で可決承認されました。

また、本年は定時総会に先立ち秩父警察署生活安全課係長に



久喜理事長

よる「振り込め詐欺の発生状況と被害防止」の講演をしていただきました。

総会での理事長挨拶

公益社団法人秩父市シルバー人材センター理事長、秩父市長の久喜邦康でございます。

昨年度は、中期基本計画に基づき、高齢者の社会参加を促進するため、就業等の活動機会の確保、提供する事業を実施しました。

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織です。センターでの活動は、将来への人的支援、医療費の削減と言ったことから、地域貢献につながります。

以前から言われていたことでございますが、昨年まで調査にご協力いただいた、ダイヤ高齢社会研究財団の健康・生活アンケートの結果、会員の皆様は、一般の高齢者と比べて健康度が高いことが改めて報告されました。7月には、埼玉県シルバー連合が会員補強、脱会防止の環境としてフレイル予防事業化研修を秩父市で行います。理事を中心とした会員の皆様に参加されると聞いております。会員の

皆様の健康増進を図り、更なる地域貢献ができることを期待しております。

今年度も請負を中心とした就業機会の拡大、また補助金の獲得、適正就業の推進のため、派遣事業の拡大を行います。公益社団法人としてセンターの社会的信用度は高いため、センター事業を今後とも拡充していきます。

また、昨年も地域の社会福祉活動のため4万4888円を市へ寄付しました。シルバーまつりでのバザー売上から捻出したもので、会員の皆様の温かい心を感じ改めて感謝申し上げます。

理事長として会員の皆様方一人ひとりが健康増進を図り、より充実した活力ある生活が遅れますよう、またこのシルバー人材センターと言う、しっかりとした組織が秩父市の活力の原動力の一翼を担えるよう努力したいと考えております。

終わりに当たり本事業に関連されるご来賓を始めとする各方面の方々に、絶大なご協力をお願いし、今後とも深いご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。とご多幸をご祈念申し上げます。挨拶いたします。

総会の後、次の方たちが表彰されました。おめでとうございませす。(敬称略)

退任理事

久保 清 楮本 茂
木村 清 石嶋善司

会員20年

小久保和一 吉田武久 小林靖男
山下ヨシ子 千島弘子 岸クリ子
新井玉枝

会員10年

波田野辰夫 島崎運門 森田民義
上田高行 浅見好数 黒澤カツミ
堀口キヨ子 柳 茂忠 谷鹿 修
小貫みき 高橋 宏 彦久保守弘
諏訪龍夫 山崎 保 吉川勝市
中山ふさ江 岩田米治 加藤タイ
伊藤正子 上林靖男 新井明司
宮崎正夫 家内二三子 池ヶ谷孝
斉藤建司 関根博明 三上有子
石嶋善司 逸見尚郎

次の方たちが新しい理事・監事に選任されました。任期は平成32年度定時総会終結時までとなります。(敬称略)

理事

久喜邦康(理事長) 中谷 亨(副理事長)
森前光弘 高橋 睦(専務理事)
清川秀幸 杉田己藏 大久保和生
吉澤はつみ 小池光夫 若林睦子
打木保子 八木美恵子

監事

岡本 清 江田幸雄

新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。(敬称略)

五月

黒沢知喜雄 山口芳夫 新井徳子
黒澤善一

六月

坂本健一 新井澄子 澁澤喜代美
井上和一 森前光弘 中西照男

シルバーまつり

去る7月3日にシルバーまつり第1回実行委員会が開かれ、今年も例年通り実施することになりました。

9月9日(日)午前9時から開会式を行い、バザーは9時30分開会予定です。

今年も出店、余興等にぎやかに行いたいと思いますので、出店希望者、余興参加希望者は、申請書(事務所にあります)を添えて事務所に申し込んでください。

バザー用品の提供を

今年もシルバーまつりで実施するバザーへのご協力をお願いします。

詳しくは8月発行の「お知らせ」に掲載します。

親睦会

グラウンドゴルフ大会結果

平成30年7月4日(水)

優勝 山崎武男 準優勝 栗原一夫
3位 新井静子 4位 上林靖男
5位 田口好之 6位 矢須芳江
7位 千島キク江 8位 加藤忠男
9位 打木保子 10位 神田直子
ホールインワン賞 18名
参加者 42名



於 荒川総合運動公園

秋の日帰り旅行の

お知らせ

期日 10月17日(水)

行先 神奈川県横須賀軍港

※詳細については、後日お知らせします。

会員活躍ひろば

今回のインタビューは、この七月末を以って満期を迎え業務終了となる福祉女性会館管理業務班長の鈴木忠夫会員です。



Q 会館管理業務はどのようなお仕事をしているのですか？

A 市の会館設置条例に沿って、約250団体の会議や研修、サークル活動の場として会館の使用受付、料金徴収・案内等を行っております。

Q 班員は何名で、どのような就業形態ですか？

A 男性5名、女性2名です。女性には昼間、男性は早番と遅番の二交代で就業しています。

Q 班長として心がけていることはありますか？

A 一番は利用者に対し親切な対応です。班員が共通な対応ができるようマニュアルが作成されているので、それに沿って就

業しています。また二重貸し出しなどが起こらないよう班員同士で確認し合っています。

Q 今までの就業経験で、心に残っていることは何ですか？

A 認知症の方との出会いがあり、サポーター研修を受講していたことが大変役に立ちました。また、生活相談などで来館される方もおり、福祉関係の部署を紹介しました。どんな場合も人間の尊厳を損なわないよう、丁寧な対応を心がけていました。

Q 今後、この就業を希望する会員に伝えたいことがありますか？

A 利用者には親切丁寧に対応することが一番、わからないことは自己判断せず相談し、また社会福祉課に確認するようにしていただきたいと思います。

Q シルバー全体の中で管理業務班としての抱負をお聞かせください。

A 市民と直接接する機関であり、市民の施設でもありますので、それ相応の対応が必要とされると思います。月に5千人程の人をシルバーだけで対応していますので、責任もあり大変ですがその分やりがいもあります。今後も親切丁寧な対応を心がけていきたいと思えます。